

# 日本株式積極運用型特別勘定 運用状況 (2009年12月末現在)

## 運用方針

- 主に日本の成長企業の株式に分散投資することによって、中長期的な成長を目指します。
- 東証株価指数(TOPIX)を上回る投資成果を目指します。
- 運用にあたっては、当社が選定した複数の投資信託を組み合わせた運用を行います。なお、運用成果の向上を図るため、特別勘定で投資する投資信託については、継続的にモニタリングを行い、適宜見直しを行ってまいります。

## 資産内訳

	金額(千円)	構成比
投資信託	1,056,771	97.4%
現預金・その他	27,981	2.6%
合計	1,084,751	100.0%

## 運用状況

2009年12月の国内株式市場はTOPIX(配当込み)で前月比8.02%上昇しました。日銀は追加の金融緩和策を決定、さらに政府が7.2兆円規模の緊急経済対策を閣議決定しました。一方、鉱工業生産指数が前月比で9ヶ月連続上昇するなど、実態経済が底堅さを増していることや、円安が進行したことから、日経平均は月間で1,200円高の10,546円となりました。このような市場環境の中、当特別勘定は8.32%上昇しました。

当特別勘定では、運用方針を勘案し、グロース運用を行う投資信託を組み合わせた運用を行っています。

現在、「フィデリティ・日本成長株・ファンドVA3」および「ピクテ・ニッポン・プレミア・グロース・ファンド」に投資しています。

12月は資金流入に合わせて「フィデリティ・日本成長株ファンドVA3」の購入を行いました。

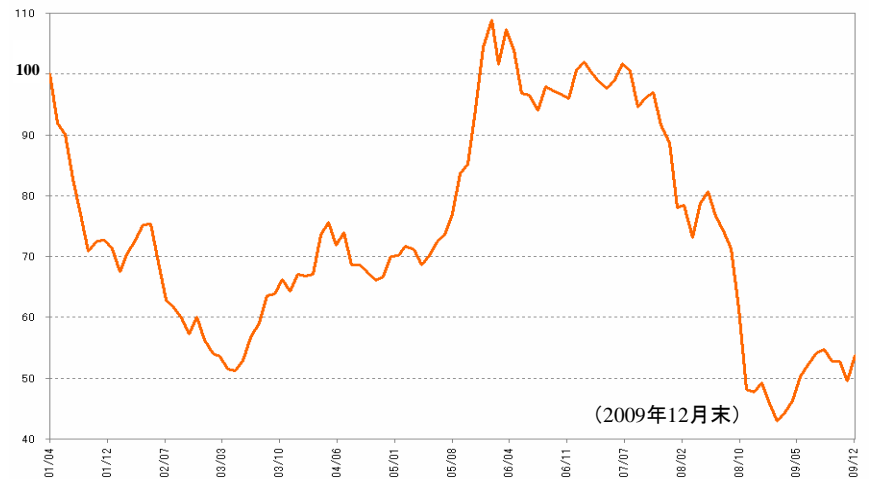
1月についても、これらのファンドへの投資を継続する方針ですが、ファンドへの投資配分・入れ替えについては適宜検討します。

## ユニット・プライス騰落状況

ユニット・プライス	過去1ヵ月	過去3ヵ月	過去6ヵ月	過去1年	過去3年	過去5年	設定来
53.68405534	+8.32%	+1.78%	+2.80%	+8.99%	▲46.67%	▲23.38%	▲46.32%

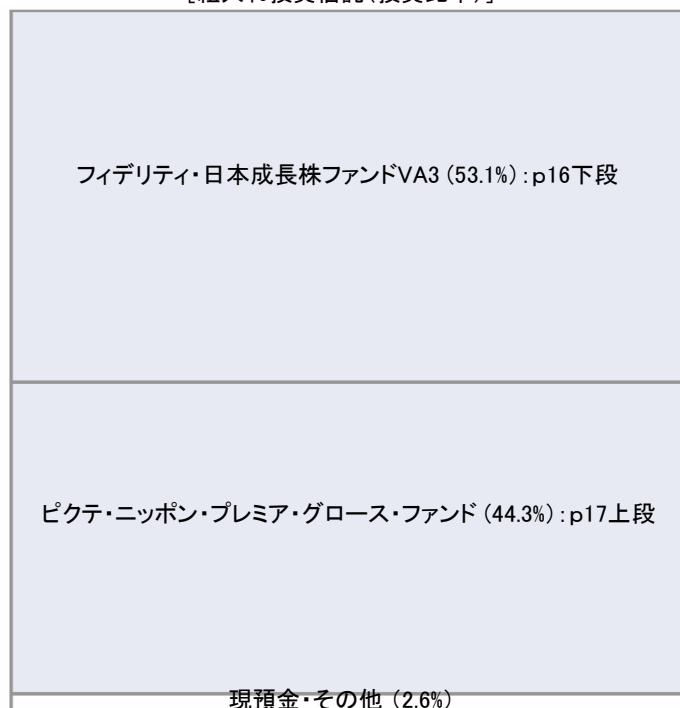
(注)ユニット・プライスとは、特別勘定の運用実績を把握するための参考値で、特別勘定の運用を開始した時点(2001年5月1日)を「100」として数値化したものです。

## ユニット・プライスの推移(運用開始日:2001年5月1日)



## ポートフォリオの状況

[組入れ投資信託(投資比率)]



(注)「p16下段」等と記載してあるのは、各投資信託の運用状況を記載しているページです。ご参照ください。

## ご注意

『当資料に関する「ご留意いただきたい事項」を2/27ページに掲載していますので、必ずご参照ください』

■将来の投資成果を保証するものではありません

当資料に記載されている事項は、現時点または過去の実績を示したものであり、将来の投資成果を保証するものではありません。